

## 令和4（2022）年度 第1回子ども・子育て会議 議事録

- 日 時 令和4（2022）年7月1日（金） 14：00～15：30
- 会 場 健康管理センター3階 集団指導室
- 出席委員 植木会長、川本副会長、近藤委員、佐藤委員、野中委員、  
松谷委員、小林委員、田辺委員 【8人】
- 欠席委員 高橋委員、村井委員、石川委員、西巻委員 【4人】
- 事務局 小池子ども未来部長  
（子育て支援課）早津課長、小池課長代理、中村係長、石橋係長、村田主任、丸山主任  
（保育課）中村課長、栗林課長代理、山口係長  
（子どもの発達支援課）小林課長  
（福祉課）尾崎課長、西巻係長 【13人】

1 開会 司会：子育て支援課主任

2 辞令交付

「柏崎市子ども・子育て会議について」に基づき、事務局より委員の役割を説明

3 挨拶 子ども未来部長

今年度の第1回子ども・子育て会議にお集まりいただき、感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も今のところ少し落ち着いた状況にあり、保育園では子どもたちがマスクを外して活動する姿も少しずつ見られるようになってきた。しかしながら、この2年半、運動会や発表会などが今までどおりにできなかったことや、マスク着用で表情が見られないことが続いていたことから、今後の成長や発達に影響をしないか注視をしていかなければならないと考えている。

委員の皆様には、子ども・子育ての専門的な知見により、当会議での積極的な発言を賜りたい。

4 委員・事務局紹介

5 会長・副会長選出

会長：植木委員 副会長：川本委員に決定

6 議事 司会進行：会長

- ・第二期柏崎市子ども・子育て支援事業計画（令和4（2022）年度の取組状況・予定）について  
総括表（令和4（2022）年度 取組状況・予定）に基づき各担当者より説明

- ・冒頭、総括表の見方について子育て支援課係長が説明

- ・総括表No.1～4について説明

事務局：No.1 ①施設型給付

：No.2 ②地域型保育給付

：No.3 (1)一時預かり事業

：No.4 (2)延長保育事業 について説明

会 長 No.1～4の事業について、令和3（2021）年度の実績に係る4事業の評価はA評価であった。また、今年度の予定が順調なのか不足なのか、お気づきの点があったら何なり

と発言をお願いしたい。御意見・御質問があったら挙手にて、名前を名乗った後、御発言いただきたい。

**委 員** 一時預かり事業と延長保育について質問したい。両事業とも公立保育園で1園ずつ減る状況にあるようだが、この理由を教えてください。

**事務局** 一時預かり事業については、高柳保育園の休園によるものである。  
延長保育については、比角保育園が今年度から民営化したため、公立保育園で1園減、私立保育園の延長保育は1園増となった。

・総括表No.5～8 地域子ども・子育て支援事業について説明

事務局：No.5 (3)病児保育事業  
：No.6 (4)利用者支援事業（母子保健型）  
：No.7 (5)妊婦健康診査  
：No.8 (6)妊産婦・新生児訪問及びこんにちは赤ちゃん事業 について説明

**会 長** 引き続き取り組むものと、新規で取り組むものがプラスアルファしてあるが、御質問・御意見等があれば御発言をお願いしたい。

<質問・意見等なし>

・総括表No.9～13 地域子ども・子育て支援事業について説明

事務局：No.9 (7)乳幼児健康診査  
：No.10 (8)児童虐待防止事業  
：No.11 (9)家庭児童相談事業  
：No.12 (10)養育支援訪問事業  
：No.13 (11)養育支援事業（育児支援ヘルパー事業） について説明

**委 員** No.13の育児支援ヘルパー事業についてお聞きしたい。双子のご家庭やご病気をお持ちのご家庭で利用できるとの説明であったが、我が家のように障害のある子どもを持つ家庭や、介護が必要な家庭においても対象とできるか。

障がいのある子どもと同時に下のきょうだいの育児をしている際、とても辛い思いをした体験があった。こうした場合もサービス利用の対象となり得るか。

**事務局** 日中、家事や育児の協力が得られない方や、相談の中身に応じて必要性があると判断できる場合に対象とさせていただいている。お困りのことがあったら、ぜひ相談いただきたい。

**委 員** 利用したい方から、問い合わせや相談をする形か。

**事務局** 相談支援の中でこれまで関りがなかった場合であると、市側から個別の発信ができないので、周りごとがあったらぜひ相談をしていただきたい。

**会 長** ●●委員からの御発言はとても大事である。相談内容に応じて可能な限り柔軟に対応し

ていただきたい。また、仮に不可能なことがあった場合には、その他の事業の組み合わせの中で実現可能な支援を考えて提供していくことが重要な役割である。

**事務局** 育児支援ヘルパー事業について補足説明する。国が制度をスタートした時は、双子・三つ子の支援として行われており、県内でも新潟市・長岡市・上越市などで、産後ヘルパーという名称で、期間限定で事業を行っていたものである。

令和2年度からは、名称を変え、実際の利用の実態を見る中で、1年以内ではなく、その後もお母さんが1年を過ぎた後も体調がすぐれない、近くに支援者がいない、疾患を持っている、ワンオペなど様々なケースがあることから、柏崎市では対象を広げ、ケアが必要な方に柔軟な形で対応できるようにしている。

**委員** 育児支援ヘルパー事業について、子ども・子育て会議の委員となって初めて知った事業であった。先日も会議の中でこの事業の説明を受ける機会があり、参加した職員のからも、とても良い事業なのだが、知っている人が少ないのではという気づきがあった。その後、資料提供をお願いし、保護者の方には制度について、ファミリー・サポート・センター事業ともに周知をさせていただいた。

今後は、広報かしわざきや、市民の方の目が届きやすい所で周知していくことが大事ではないかと考える。

また、家庭児童相談事業において、相談件数が400件増加しているとのことだが、これは不登校などの相談もかなり増えているのではないかなと思う。柏崎市の不登校の人数等の実態を把握しているようであればお聞きしたい。

**事務局** 育児支援ヘルパー事業について、困っている人にはぜひ使っていただきたい。今後も育児支援・家事支援に力を入れ、さらなる事業周知に努めていきたいと考えている。

**事務局** 不登校については、市の学校教育課が所管となっており、当会議においては詳細の数字を資料として持っていない。昨年度の状況では中学生が70人前後、小学生が20人前後の状況であると承知している。コロナ禍の状況の中、柏崎市では少し増えている状況であるが、直近5年間の不登校の発生率でみると、県内の平均よりも少し低い状況であると把握している。

**委員** No.10の養育支援訪問事業において、今年度の取組の検討事項としてヤングケアラーの啓発があげられているが、これに対応する内容は、要対協（要保護児童対策地域協議会）のネットワークを活用して啓発を実施するということか。

**事務局** 要対協（要保護児童対策地域協議会）は、教育機関や医療機関、行政機関等のメンバーで構成されていることから、ヤングケアラーについての認知度の向上に取り組んでいきたいと考えている。

・総括表No.14～18 地域子ども・子育て支援事業について説明

事務局：No.14 (12)子育て短期支援事業

：No.15 (13)ファミリー・サポート・センター事業（子育て援助活動支援事業）

：No.16 (14)地域子育て支援拠点事業

：No.17 (15)放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

：No.18 (16)子どもの遊び場整備事業

について説明

<質問・意見等なし>

・総括表No.19～22 地域子ども・子育て支援事業について説明

事務局：No.19 (17)子育て応援券事業

：No.20 (18)医療費助成事業

：No.21 (19)実費徴収に係る補足給付を行う事業

：No.22 (20)多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業 について説明

質問・意見等なし

**会 長** 全体を通して御質問等はあるか。

**委 員** 利用者支援事業の取組において「SNSを活用した相談の試行的な取組を検討」とあるが、具体的にまとまっているか。

**事務局** 現段階では検討中の状況である。現在、既に関係性ができている当事者の方と支援者において試行的に実施することを考えている。この中で、相談のしやすさなどを実際に利用者の方から意見を聞きながら検討していきたい。

**会 長** これから実施をしていくということによろしいか。

**事務局** 助産師との関係性ができている方に声掛けをしている段階である。秋までには実際に試行的に取り組みたい。

**委 員** SNSは身近なツールであるので、活用が進んでいくと支援者側との距離も縮まり、良い取組になるのではないかと。また、取組にあたっては、民間の会社の力も借りていくことも良いのではとないか。

**会 長** 今回の会議の時にまでに試行的な取組が実施できた場合には、報告をお願いする。

**委 員** 子育て短期支援事業について、とても良い事業だと思う。次年度以降、再開できると良いのではないかと考えています。

**事務局** 利用者も年々増えていたため、大変良い事業だと認識している。現在、再開できるように関係機関と話し合いを進めているところである。

**副会長** 親子関係が複雑化しているケースも多くあり、今後も委員の皆様と意見交換等を実施していきながら、子どもにとってより良い形を考えていきたいと考えている。

7 その他（連絡事項等）

- ・貧困調査について連絡
- ・報酬について
- ・次回開催予定について

8 閉会 子育て支援課長

委員の皆様には、長時間にわたり御審議をいただき感謝申し上げます。

本日は、今年度の第2期子ども・子育て支援事業計画の各事業の取組状況や今年度の取組予定について説明させていただき、新しい委員の皆様も迎え、御質問、御意見等お聞かせいただいた。

この会議は、本計画の実施状況を確認し、継続的に点検・評価を審議いただくものである。いただいた御意見等については、今後の事業実施の参考にし、子育てしやすいまちづくりを進めていきたい。